

山寺通信

鶏谷山花栄寺だより

今号の記事：

- 奈良と京都を巡る二泊三日

- 墓地裏側の杉を間伐しました
- 『禅をさく会』に参加しませんか？
- 平成29年度 第一回山内整備

奈良と京都を巡る二泊三日

連休が明けてすぐに東堂をお連れして奈良に行ってきました。奈良の国立博物館で快慶展が開かれるということを前々から聞いており、是非見ておきたかったのです。せっかく奈良に足を運んだついでに、近くの寺社仏閣遺跡を巡り、さらに京都にも行ってみようという二泊三日の旅でした。

初日、法隆寺を参拝いたしました。国宝でもあり、世界遺産でもある五重塔を間近に拝むことができ、貴重な体験でした。金堂の観世音菩薩像の前では読経もさせて頂きました。大講堂の前で瓦志納の受付をしていたので、花栄寺としてわずかながらも寄進させていただきました。



五重塔と東堂

記念

法隆寺

法隆寺で瓦志納

翌日は、蘇我馬子の墓と伝えられている明日香村の石舞台古墳からスタートし、午前中に葛城山を越えて弘川寺をお参りました。弘川寺には「ねがはくは花のもとにて春死なむ/その如月の望月のころ」の句を詠み、実際にその時節に亡くなった鎌倉期のお坊様・西行の墓があり、山一帯を山桜が覆っていました。たまたま御住職様にお目にかかる事が出来、お寺についてお話を伺いました。



弘川寺にある西行の詩碑



弥勒菩薩立像

午後からは、いよいよ快慶展です。連休明けとはいえ、国内外から大勢の観光客、そして修学旅行の生徒さんたちで賑わっていました。

快慶は鎌倉時代を代表する仏師。作風は華麗な印象を受けました。少し若いころの横綱貴乃花光司さんに似てるとも思いました。彼は運慶とともに慶派を担った人物ですが、実は秋には東京国立博物館で運慶の展覧会も予定されており、今からこちらも見に行きたいと念じています。

博物館を出たのが夕方ので、人の波を避けるように山あいへ



神護寺にて

と進み、弘法大師空海ゆかりの神護寺をお参りし、大原の寂光院ふもとの旅館に投宿しました。

最終日は比叡山延暦寺の根本中堂を参拝しました。道元禅師様も若き日を過ごした道場です。

日本に仏教が伝わったのは1500年前。日本という幹に外国の花が接ぎ木され、飛鳥、白鳳、天平、平安、鎌倉期とそれぞれに大輪の花を咲かせ、今日につながっているのだといってもよいでしょう。今回の旅を通じて、改めてその歴史と仏教を担った祖師方の想いを足の裏に感じてきたことでした。

墓地裏側の杉を間伐しました

これまで管理が行き届かないままになっていた墓地裏側でしたが、この度下草の刈り込みとともに杉も大幅に間伐し、すっきりとした印象の斜面に生まれ変わりました。杉は当山25世好信和尚様が材木用に植樹されたものと伺います。先人の残した足跡を大切に守りながら、整理したり見直したりすべき所はきちんと目配りしてゆかなくてはならないと考えております。ここ数年、境内林各所で下草を刈っており、雪消後のひと時、すっきりとした山容を楽しむことができます。



左上:墓地から眺めた木沢の水田 右上:間伐のあと
左下:ペット供養墓の花 右下:シャガが花盛り(奥は合同供養墓)

平成29年度 第一回山内整備

下記日程で山内整備を実施いたします。ご都合のつく方は、お寺の整備活動にご協力ください。昼食に、おにぎりとお汁をご用意いたします。

期日 5月27日(土)

時間 午前9時30分、花栄寺にお集まりください

活動内容

男性 屋外で草刈り、庭清掃

女性 屋内の清掃

『禅をきく会』に参加しませんか？

下記日程で『禅をきく会』を開催いたします。参加希望される方は6/5までにお寺にご連絡下さい。

- 期日: 平成29年7月21日(金)
- 場所: リージョンプラザ上越
- 会費: 無料
- 日程:
 - 13時～13時30分 受付
 - 13時30分～50分 開会式 椅子坐禅
 - 14時～40分 和太鼓演奏
演奏 三重県和太鼓集団『鼓司』
15時～16時30分 禅話 増田友厚老師
演題『今、ここで、慈念に生きる』
一つながる命を耕しあつて

三重県和太鼓集団『鼓司』 三重県曹洞宗青年会会員で構成された和太鼓集団。2006年結成、現在12名で活動。公演回数は百回近い。



増田友厚老師略歴 曹洞宗北信越管区教化センター統監。長野県蕃松院住職。佐久市教育委員・保護司。不登校生触れ合い体験リーダー。